

1 1月25日に開催されました常議員会におきまして、
下記協議事項が承認されましたので、ご案内申し上げます。

【協議事項】

1. 特別顧問・顧問・参与委嘱の件
2. 常議員会決議事項の臨時議員総会への委任の件
(改選時の顧問及び参与の委嘱の承認について)
3. 2019年度収支補正予算(案)の件
4. その他

[報告事項]

1. 副会頭の会頭代行順位・担当部会等の件
2. 令和2年度神奈川県予算・政策要望(県連)の件
3. 令和2年度税制改正における商工会議所の意見陳情
(地元国会議員あて)の件
4. 「横須賀市新年賀詞交歓会」の件
5. 「横須賀市の未来を考える若者達との討論会」の件
6. その他

常議員会

令和元年11月25日

特別顧問・顧問・参与委嘱の件

横須賀商工会議所定款抜粋

(顧 問)

第59条 本商工会議所に、顧問を置くことができる。

2. 顧問は、本商工会議所の目的達成について必要な重要事項について会頭の諮問に応ずる。

3. 顧問は、学識経験のある者及び本商工会議所に功労のあった者のうちから会頭が常議員会の承認を得て委嘱する。

4. 第34条(役員任期)の規定は、顧問について準用する。

(参 与)

第60条 本商工会議所に、参与を置くことができる。

2. 参与は、本商工会議所の事業遂行に関する重要事項に参与する。

3. 参与は、学識経験のある者のうちから会頭が常議員会の承認を得て委嘱する。

4. 第34条(役員任期)の規定は、参与について準用する。

特別顧問・顧問・参与委嘱（案）

【特別顧問】

元 会 頭 木 村 忠 昭 様

【顧 問】

横 須 賀 市 長

海上自衛隊横須賀地方総監

元 副 会 頭 櫻 井 三 紀 夫 様

元 副 会 頭 内 川 晋 様

元 副 会 頭 小 山 満 之 助 様

元 副 会 頭 石 井 善 章 様

元 副 会 頭 梅 原 肇 様

元 副 会 頭 田 中 伸 介 様

元 副 会 頭 吉 井 貫 様

【参 与】

横 須 賀 税 務 署 長

横 須 賀 労 働 基 準 監 督 署 長

横 須 賀 公 共 職 業 安 定 所 長

横 須 賀 警 察 署 長

横 須 賀 三 浦 地 域 県 政 総 合 体 外 所 長

横 須 賀 市 経 済 部 長

元 専 務 理 事 鈴 木 泰 浩 様

元 専 務 理 事 浜 田 哲 二 様

常議員会決議事項の臨時議員総会への委任の件 (改選時の顧問及び参与の委嘱の承認について)

協議上程の理由

顧問及び参与の委嘱の承認については、常議員会の承認事項ですが、改選後最初に開催する会頭以下の役員を選任する臨時議員総会に本承認事項を委任し、役員と議決時期を統一する。
(改選期のみ)

※役員の任期は、改選年の11月1日から3年後の10月31日まで(第34条)
第59条第4項 第34条(役員の任期)の規定は、顧問について準用する。
第60条第4項 第34条(役員の任期)の規定は、参与について準用する。

(例)11月1日臨時議員総会⇒役員選任、11月25日常議員会⇒顧問・参与の委嘱承認
※改選人事は、役員の選任並びに顧問・参与委嘱をもって終了

改選期のみ臨時議員総会に委任する事項 (定款抜粋)

(常議員会の決議事項)

第45条 次に掲げる事項は、常議員会の議決を経なければならない。

(10) 顧問及び参与の委嘱の承認

2019年度 収支補正予算（案）の件

（単位：円）

	収入			支出		事業内容	備考
	科目	事業名	収入額	科目	支出額		
一 般 会 計	伴走型 小規模支援		8,565,000	経営資源化 経強	8,565,000		日本商工会議所
	業務受託 収入		6,136,000	受託補助 事業費	5,541,000		
		1 消費税軽減税率 対策窓口相談	2,240,000		2,240,000	消費税軽減税率対策	日本商工会議所
		2 米海軍入札企業 研修事業	519,000		519,000	建設技術者安全衛生 管理講座(事務費)	横須賀市
		3 在宅就業 推進事業	400,000		400,000	在宅ワーカー支援	横須賀市
		4 就業支援 パソコン講座	2,977,000		2,382,000	就業支援パソコン講座	横須賀市
	事業担 業金		8,875,000	事業推 進費	3,475,000		
		1 地産地消 推進事業	3,475,000		3,475,000	「海の幸・大地の恵み」	横須賀市
		2 よこすかキャリア 教育推進事業	5,400,000		*事業推進費に 予算計上済	中学生 “自分再発見プロジェクト”	横須賀市
		①交付金計	23,576,000				

(単位：円)

	収入			支出		事業内容	備考
	科目	事業名	収入額	科目	支出額		
一般 会 計	手数料入		2,948,000	会員サービス 事業費	2,948,000		
		1 米海軍ビジネス 交流事業	2,948,000		2,948,000	建設技術者安全衛生 管理講座（受講料）	
	使用料入		▲ 1,770,000				
		1 テナント収入	▲ 1,770,000			ジョブカード事業撤退	
		②事業収入計	1,178,000				
				事業推進費	300,000	産農人プロジェクト	
				地域振興費	▲ 1,196,000	産業まつり、 国際レプション中止	
				③事業費計	19,633,000		
				④予備費	5,121,000		
			24,754,000		24,754,000		
建物 会計				工事費	13,142,000	LED工事	⑤
				予備費	▲ 13,142,000		⑥
			0		0		
合計			24,754,000		24,754,000		

2019年度 一般会計収支予算書（補正後）

自 2019年 4月 1日
至 2020年 3月 31日

【収入の部】

（単位：円）

科 目 款	当初予算額	補正額	補正後予算額	比較増減(▲)	備考
1. 会 費	72,504,000		72,504,000	0	
2. 負 担 金	4,041,000		4,041,000	0	
3. 交 付 金	89,430,000	23,576,000	113,006,000	23,576,000	①
4. 事 業 収 入	151,561,000	1,178,000	152,739,000	1,178,000	②
5. 受 託 収 入	10,028,000		10,028,000	0	
6. 議 員 特 別 金 寄 付 金	2,270,000		2,270,000	0	
7. 雑 収 入	740,000		740,000	0	
8. 繰 越 金	30,000,000		30,000,000	0	
合 計	360,574,000	24,754,000	385,328,000	24,754,000	

【支出の部】

(単位 : 円)

科 目	当初予算額	補正額	補正後予算額	比較増減(▲)	備考
款					
1. 事業費	192,635,000	19,633,000	212,268,000	19,633,000	③
2. 管理費	97,439,000		97,439,000	0	
3. 会館費	17,554,000		17,554,000	0	
4. 繰入金	28,000,000		28,000,000	0	
5. 予備費	24,946,000	5,121,000	30,067,000	5,121,000	④
合 計	360,574,000	24,754,000	385,328,000	24,754,000	

2019年度 建物関係特別会計収支予算書（補正後）

自 2019年 4月 1日
至 2020年 3月 31日

【収入の部】

（単位：円）

科目	当初予算額	補正額	補正後予算額	比較増減(▲)	備考
款					
1. 繰入金	10,000,000		10,000,000	0	
2. 雑収入	260,000		260,000	0	
3. 繰越金	247,220,000		247,220,000	0	
合計	257,480,000	0	257,480,000	0	

【支出の部】

（単位：円）

科目	当初予算額	補正額	補正後予算額	比較増減(▲)	備考
款					
1. 工事費	0	13,142,000	13,142,000	13,142,000	⑤
2. 予備費	257,480,000	▲ 13,142,000	244,338,000	▲ 13,142,000	⑥
合計	257,480,000	0	257,480,000	0	

会頭代行順位・担当部会等の件

【会頭代行順位・担当部会等】

※代行順位=定款第32条第2項

(敬称略)

順位	副 会 頭	担 当 部 会
1	中島潤二郎	工業・金融
2	道平隆	建設・運輸港湾
3	鈴木康仁	商業・観光サービス
4	小幡泰彦	不動産 (青年部・女性会)

※青年部・女性会は平松会頭が都合つかない場合

「中小企業支援」と商工会議所の「経営支援体制強化」に向け
令和2年度神奈川県予算・政策要望(県連)の件

(一社)神奈川県商工会議所連合会



要望書を手交する上野県連会頭はじめ県下14商工会議所会頭(平松会頭は黒岩知事の右隣)

提出先: 神奈川県知事 黒岩 祐治 殿

日 時: 令和1年11月 8日(金) 13:35~14:20

場 所: 神奈川県庁新庁舎5階 第5会議室

【共通要望】

I 中小企業・小規模事業者支援及び地域活性化施策の充実強化

(1) 中小企業・小規模企業者支援施策の充実・強化

平松会頭(県連副会頭)

自然災害等危機発生時の支援強化について

発災後の初動の迅速化を図るため、県が核となって緊急時に対応できる機動的な広域ネットワークの強化や支援要請前のプッシュ型支援による緊急対応、被災後の助成措置など、中小企業が早期に復旧できる包括的支援パッケージの構築を要望

(2) 消費拡大・地域経済活性化につながる観光施策の積極的展開

(3) 産業活動の基盤となる道路・鉄道等社会資本の整備・充実

II 商工会議所の中小企業・小規模事業者に対する

経営支援体制の充実・強化

【個別要望】

1. 国道357号の都市計画決定区間の早期整備及び南下延伸の早期具体化
2. 高速横浜環状南線及び横浜湘南道路の早期整備
3. 三浦半島地域幹線道路等建設促進
4. 海上輸送船の横須賀港への誘致促進
5. 「ナショナルトレーニングセンター(NTC)」誘致促進

令和2年度税制改正における商工会議所の意見陳情の件

事業承継の円滑化、新事業展開・生産性向上を促す税制の整備を！

1. 価値ある事業を次世代へ繋ぐ「第三者承継」を後押しする税制措置の創設

- 早期の事業引継を促すため、株式等の譲渡に対するインセンティブ措置および買い手企業に対する買収リスク軽減措置（「のれん」の一括償却等）を講じるべき

2. 中小・スタートアップ企業の企業連携等による地域の新たな産業の創出

- 中小企業等によるスタートアップ投資を通じて、オープンイノベーションを促す税制措置の創設
- 個人からの出資を促すエンジェル税制の要件緩和（創業期間要件（3年）の延長等）

3. 約50万社が活用する「少額減価償却資産の損金算入特例」の延長

- 本特例は、減耗の激しい器具の更新等、恒常的に発生する設備投資に活用されており、中小企業の事務負担の軽減・生産性向上に大きく寄与
- 軽減税率対応、最低賃金引上げ、時間外労働規制等により、中小企業の実業生産性向上が急務。遅れているIT化・IoT対応を促すためにも、本特例は縮減することなく延長すべき

事業承継の円滑化、新事業展開・生産性向上を促す税制の整備を！

4. 中小企業の販路開拓を後押しする「交際費の損金算入特例」の延長

- 取引先が限定される中小企業において、交際費は販路開拓等のため不可欠な支出。地域の消費喚起にも資することから、本特例は確実に延長すべき

5. 2023年10月から導入予定のインボイス制度は、廃止を含め慎重に検討すべき

- 消費税軽減税率制度導入によって制度が複雑化したうえに、適格請求書等（インボイス）の発行・保存・確認に係る事務負担の増加は、生産性向上に逆行
- 免税事業者（約500万者）の取引排除等、地域経済への影響も極めて大きく、インボイス制度は、廃止を含め慎重に検討すべき

「横須賀市新年賀詞交歓会」開催の件

1. 名 称 横須賀市新年賀詞交歓会
2. 開催目的 新年に際して横須賀市内の地縁団体、商工関係団体等が一堂に会し、賀詞を交歓し合い、友好を深めるとともに情報交換を行うことにより、本市の活性化を図るために開催する。
3. 主 催 横須賀市、横須賀市議会、横須賀商工会議所
4. 開催日時 **令和2年1月6日(月) 10:00**
5. 開催場所 横須賀市総合体育会館(横須賀アリーナ)
6. 経費負担 事業実施後に要した全経費の1/3の額を負担金として横須賀市に支払う

「横須賀市の未来を考える若者達との討論会」の件

高校生が横須賀の未来を語る～“今の横須賀ここがダメなんだ！”

横須賀市内の私立高等学校3校(湘南学院高等学校・緑ヶ丘女子高等学校・三浦学苑高等学校)の高校生が“未来の横須賀”をテーマとしたプレゼンテーションを開催。

海上自衛隊横須賀地方総監部の協力により、会場は、近代化遺産として文化的価値が高い海上自衛隊田戸台分庁舎(旧横須賀鎮守府司令長官官舎)とし、高校生にも横須賀や田戸台分庁舎の歴史に触れてもらう。

1. 開催日時：令和元年12月14日(土) 10:00～13:30(受付開始9:30～)
2. 会場：海上自衛隊田戸台分庁舎(神奈川県横須賀市田戸台90)

【内容】

(第1部) 高校生によるプレゼンテーション・ディスカッション

・各校10分×3校の発表

昼食(海上自衛隊カレー)・懇談

(第2部) 各校生徒によるパフォーマンス

・各校生徒による吹奏楽演奏、新体操披露

・海上自衛隊横須賀音楽隊による演奏

